

リペアミックスJ1

NEXCO断面修復(左官工法・吹付け工法)規格適合品
JR西日本認定断面修復材(湿式吹付け)



リペアミックス シリーズ

特長

- 1 早期の高強度発現性・低収縮性
- 2 粉末樹脂を配合した一材型PCM
- 3 良好な圧送性と厚付性
- 4 優れた鉄筋背面充填性
- 5 水量調整により左官施工も可能
- 6 亜硝酸リチウムの混和に対応



標準配合

| 品名 | 通常使用 | |
|-----------|-----------|--------------------|
| | 1袋当り | 1m ³ 当り |
| リペアミックスJ1 | 25kg | 1,850kg (74袋) |
| 清水 | 3.4~4.0kg | 252~296kg |

※ 清水は施工環境や施工機械特性などに応じて、上記範囲内で調整してください。
※ 防錆剤を使用する場合は事前に試験練りを行ってください。

適用例



橋脚鉄筋増設工事



床版補強工事



亜硝酸リチウム混和時の吹付け性状

基本物性

温度：20℃

| 試験項目 | 試験結果 | 試験方法 |
|-----------------------------|---------|------------|
| 混練水量 | 3.7kg/袋 | — |
| モルタルフロー (—) | 147.5 | JIS A 1171 |
| モルタルスランプ (mm) | 20 | JIS A 1171 |
| 単位容積質量 (kg/L) | 2.101 | JIS A 1171 |
| 硬化時間 (時:分) | 5 : 33 | JIS A 1171 |
| 圧縮強度 (N/mm ²) | 1日 | 13.1 |
| | 7日 | 40.9 |
| | 28日 | 47.3 |
| 静弾性係数 (kN/mm ²) | 28日 | 21.2 |
| 接着強度 (N/mm ²) | 28日 | 2.4 |
| 乾燥収縮 (%) | 28日 | -0.046 |

※試験値は社内試験による測定例であり、保証値ではありません

使用方法

詳しくはリペアミックスJ1 施工要領書をご覧ください。

1 下地処理

①施工面の浮き部、ひび割れ部やその周辺の脆弱部をはつり取り、油分、塵埃等を除去してください。
 ②露出鉄筋の防錆処理が必要な場合は、下地強化を兼ねてリペアペストを全面塗布してください。
 ③下地の吸水が激しい場合は、吸水調整材を塗布してください。

2 施工準備

①吹付け施工する場合は、ミキサー、ポンプ等の機材を適切に配置した後、ホッパーからセメントノロを圧送してください。
 ②左官施工する場合は、施工箇所周辺を汚損させないようにシート等で養生してください。

3 練混ぜ

①粉体を投入したモルタルミキサーに所定量の清水を加えて、3分間以上丁寧に練混ぜてください。
 ②亜硝酸リチウムを添加する場合は、バケツ等で清水とよく混合してからミキサーに投入してください。
 ※水量は施工時の気象条件、施工規模、機械特性などに応じて適切な粘性になるよう調整してください。

4 施工

①吹付け施工する場合、1回の吹付け厚は壁面で60mm、天井面で40mmを限度とし、吹き重ねる場合は、前層の指触硬化を確認してから施工してください。
 ②左官施工する場合、少量を下地によく擦付けて馴染ませた後、追っかけて所定の塗り厚に仕上げてください。

5 養生

①モルタルの締め具合を見て仕上げ押えてください。
 ②急激な乾燥を防止するため、被膜養生剤の塗布、またはシート等で覆って施工面を養生してください。

吹付け施工システム

コンプレッサー
レギュレーター
フレキシブルホース Φ32mm × 10m
耐圧ホース Φ38mm × 10m × 2本
発電機

| | 鉄筋防錆剤 | 断面修復材 | 無収縮グラウト材 | 吸水調整材・被膜養生剤 |
|----------|-------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 関連 商材 | 塗布型防錆剤 リペアペスト | 断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス Pro | 断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス | セメント系 無収縮グラウト材 グラウトミックス |
| | 亜硝酸リチウム系 防錆剤 RM-40S | | アクリル系エマルジョン リペアプライマー | EVAエマルジョン キーブジョンK-100 |

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。
 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 ・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
 ・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【保管】 ・部外者が触れないような措置をし、保管すること。

【廃棄】 ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】 ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
 ・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
 ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

注意事項

【使用上の注意】 ・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
 ・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
 ・本製品はセメント製品につき湿気敏感。雨露や直射日光を避け、パレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管すること。

【カタログに関する注意事項】 ・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
 ・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
 ・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

株式会社 トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>

(認証範囲) <https://www.jtccm.or.jp/>

販売店

| | |
|------------------------|---|
| 本社・東日本営業Gr | 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073 |
| 中日本営業Gr | 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125 |
| 中国営業所 | 745-8648 山口県周南市御影町1-1 (株)トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202 |
| 西日本営業Gr | |
| 九州営業所 | 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070 FAX 0834-62-7202 |
| 首都圏セメント建材開発センター | 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370 |

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

2024.09 第11版